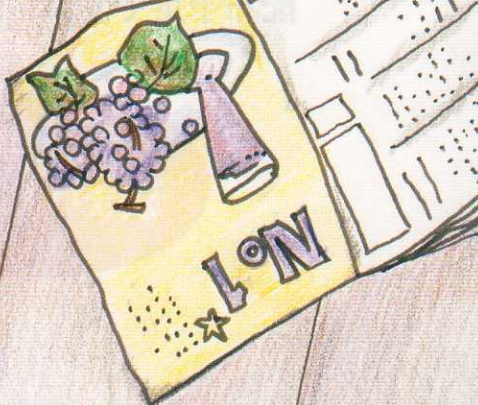
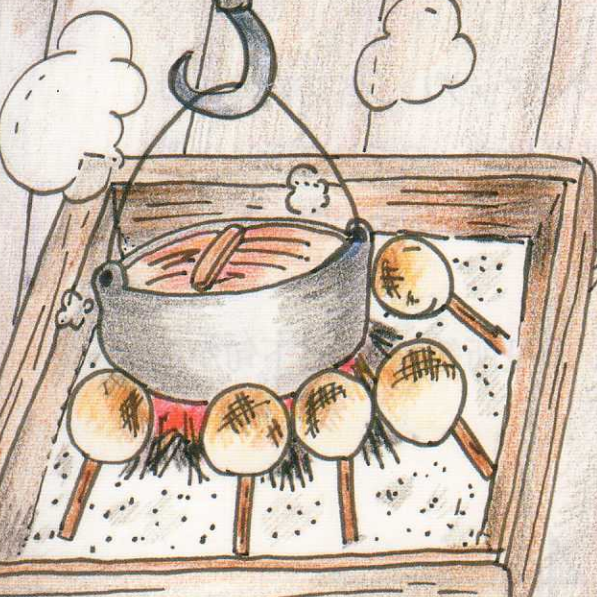


最前線



特集1 ぐるっと三圏域～久慈・二戸・八戸～…………… 2
 特集2 「振興局のイメージ」に関するアンケート結果… 4
 特集3 みんなで守る地域の公共交通 …………… 6
 広域振興局からのお知らせ …………… 7
 おでかけクチコミ情報 …………… 8

ぐるっと三圏域

【北緯40°ナニャトヤラ連邦】

一つの圏域として強いつながりを持つ、久慈、二戸、八戸の三つの地域が、県境を越えて地域の活性化を目指してより一層連携をしていくために、平成18年に「三圏域連携懇談会」が設立されました。

そして、平成21年、公募で愛称を募集し、この三圏域の呼び名として決定したのが、三つの圏域内で親しまれている盆踊りの歌「ナニャトヤラ」にちなんだ「北緯40° ナニャトヤラ連邦」です。



【北のコナモン博覧会】

日時：H22.12.4(土)～H23.2.27(日)

会場：久慈市・二戸市・八戸市及び周辺

地域内のコナモン飲食店、販売店

～北のコナモン博覧会の楽しみ方～

コナモン料理を取り扱う飲食店・販売店などとタイアップし、各店自慢のコナモンメニューをラインナップしたガイドブックを持ち歩き、スタンプラリー形式(ビンゴ)でお店を回ります。**ビンゴが完成した参加者の中から抽選で、素敵なプレゼントを贈呈**します。

※ガイドブックは、参加店のほか各市観光案内所、市役所等で11月下旬から配布予定です。

ロゴマーク、
決まりました!



—北緯40°—
ナニャトヤラ連邦

～久慈・二戸・八戸～



八戸えんぶり

日時:平成23年2月17日～20日
会場:長者山新羅神社(奉納、撮影会)
八戸市中心街(えんぶり行列、
一斉摺)他

問い合わせ先:八戸市観光課
電話0178-46-4040



地底ワールド 「もぐらんぴあ」

地下水族館とトンネル掘削発破体験
などができる石油文化ホール

開館時間 10時～16時
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 300円(小中学生)
500円(高・学生)
700円(一般)

住所
久慈市侍浜町字麦生 1-43-7
電話 0194-53-9600

遊

田中館愛橘 記念科学館

シャボン膜発生装置など科学実験工
房で実験できます。

開館時間 9時～17時
休館日 第4月曜日及び
祝日の翌日
入館料 100円(小中学生)
200円(高校生～)

住所
二戸市石切所字荷渡 6-2
電話 0195-25-5411

「振興局のイメージ」に

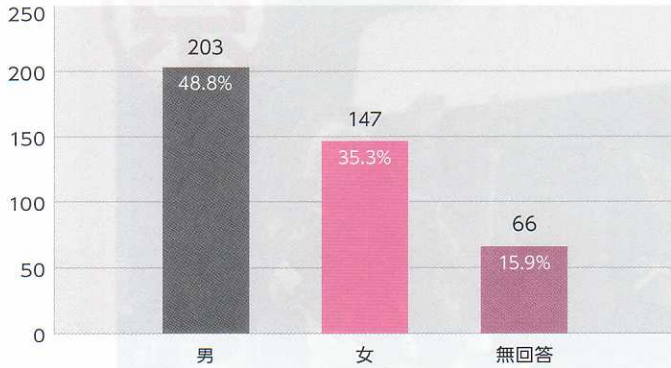
アンケート結果のポイント

実施期間 平成22年7月15日から平成22年8月30日

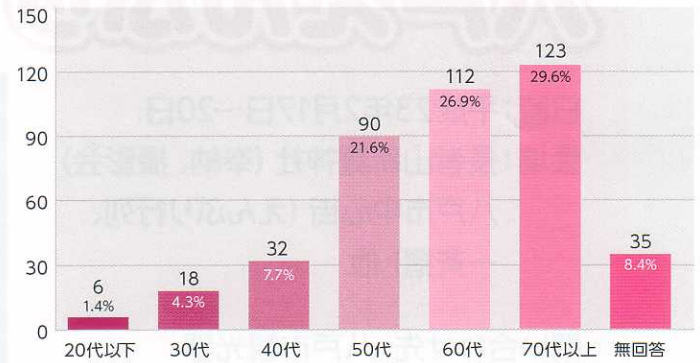
回収方法 折込はがきの返送、回収箱（久慈・二戸地区合同庁舎県民ホール）

- ★県北圏域8市町村から寄せられた回答は416通
- ★振興局の取組みについては、一定の理解が得られていますが、情報発信が不十分との意見が多かった。
- ★今後力を入れて取り組むべき分野として最も関心が高いのは「医療の充実」「農業」「福祉」「雇用対策・就業支援」など

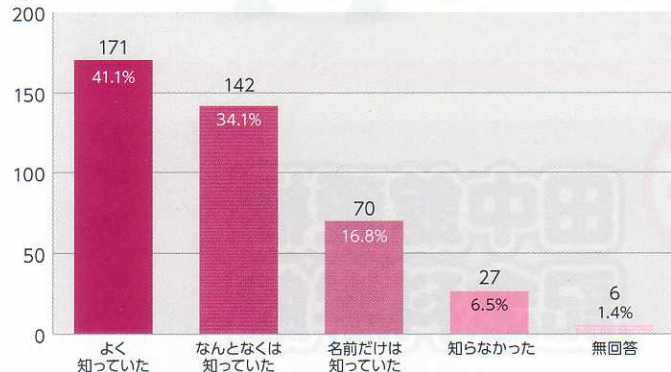
性別



年代別

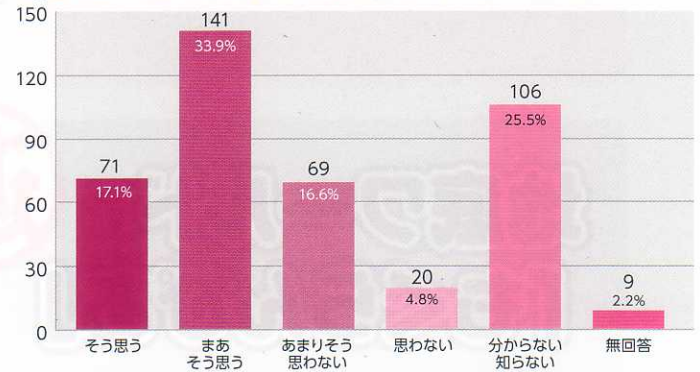


Q1 県北広域振興局をご存知でしたか。



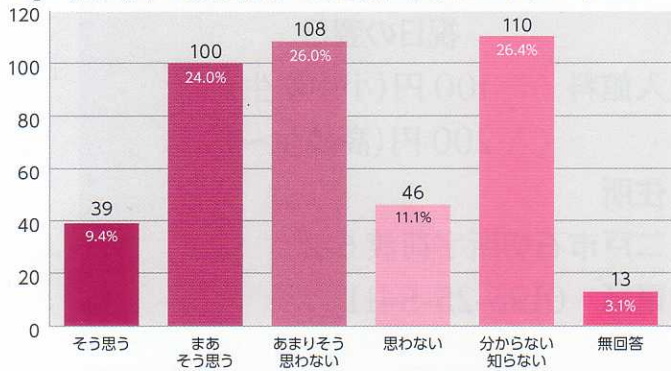
- 「県北広域振興局」については、知っているとの回答が91.0%で、知らなかったという回答の6.5%を大きく上回りました。引き続き、身近な振興局として、地域の活性化に取り組んでいきます。

Q2 振興局の職員の対応は親切、丁寧ですか。



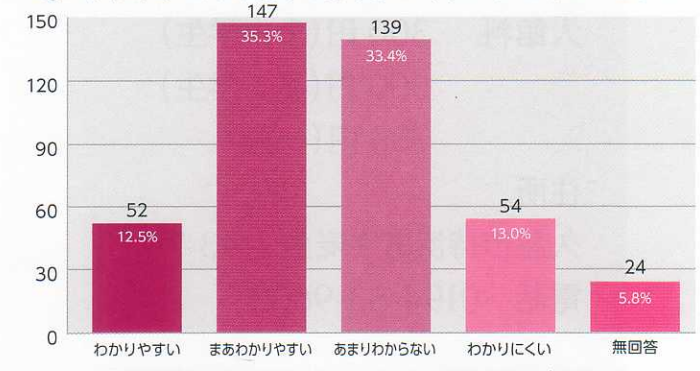
- 「職員の対応」については、肯定的回答（「そう思う」「まあそう思う」）が51.0%で、否定的回答（「あまりそう思わない」「思わない」）の21.4%を上回りました。より多くの地域の方々から評価していただけるように、職員の接遇の改善に取り組んでいきます。

Q3 振興局の雰囲気は、元気・活気がありますか。



- 「振興局の雰囲気」については、肯定的回答が33.4%と、否定的回答の37.1%を下回りました。振興局をより身近に感じていただき、地域の方々から信頼されるように、職員一人ひとりが明るく前向きに取り組んでいきます。

Q4 振興局の庁舎内の案内は、分かりやすいですか。



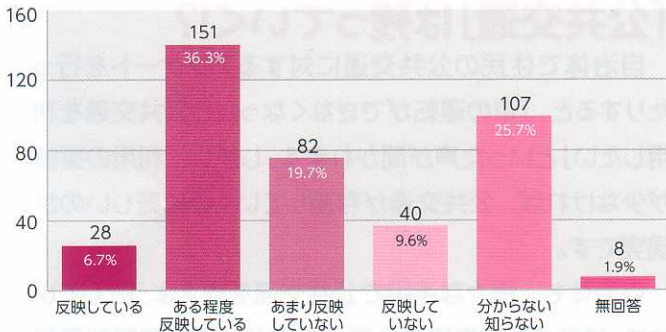
- 「振興局庁舎内の案内」については、肯定的回答が47.8%と、否定的回答の46.4%を若干上回りました。振興局では、来庁された皆さま方がスムーズに用事を終わられるよう表示を分かりやすくするとともに、職員一人一人が積極的に声かけをするなどご不便をおかけしないよう取り組んでいきます。

関するアンケート結果

(県北広域振興局全戸配布アンケート実施結果)

～ご意見ありがとうございます～

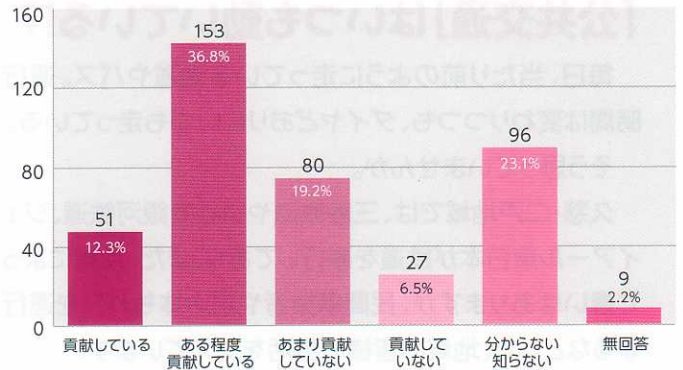
Q5 振興局の取組みは、地域のニーズを反映していますか。



○「地域ニーズの反映」については、肯定的回答が43%と、否定的回答の29.3%を上回りました。

振興局では、地域の活性化や課題解決に向けて地域の方々との話し合いを来庁された皆さま方がスムーズに用事を終わられるよう表示を分かりやすくするとともに、職員一人一人が積極的に声をかけるなどご不便をおかけしないよう取り組んでいきます。

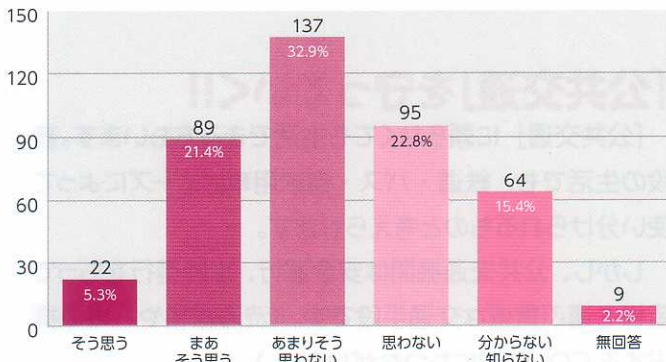
Q6 振興局の取組みは、地域に貢献していますか。



○「地域貢献」については、肯定的回答が49.1%と、否定的回答の25.7%を大きく上回りました。

振興局の取組みを広報等できちんとお知らせし、地域の方々から評価していただけるよう努めます。

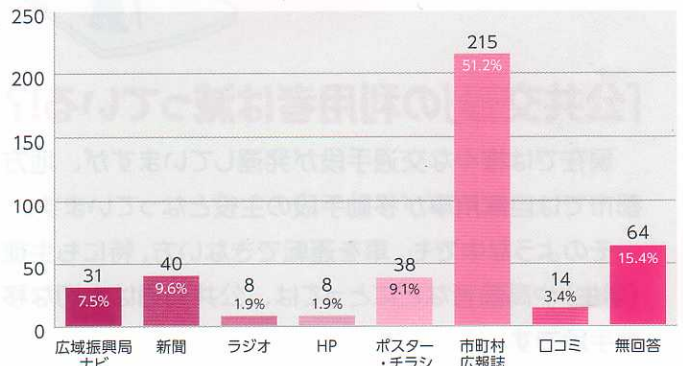
Q7 振興局の取組みについて、地域への説明や情報提供は十分と思いますか。



○「説明や情報提供」については、否定的回答が55.7%と、半数を上回りました。

振興局では、久慈タウン誌「ダ・なす」や各市町村広報誌の誌面、カシオペアFMを活用した情報提供に努めています。地域の皆様にしっかり届く広報を実現するよう、今回いただいた意見をもとに、広報の充実を図っていきます。

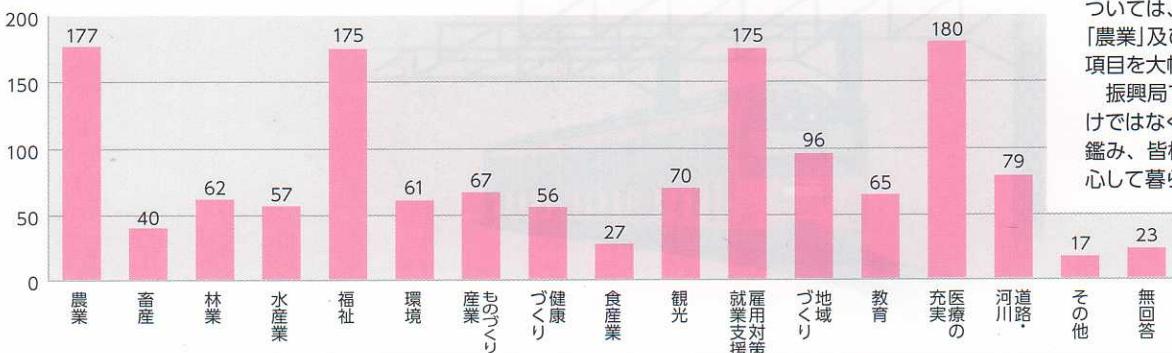
Q8 振興局の情報は、何から得ていますか。



○「振興局の情報を何から得ているか」については、51.2%の方が、「市町村広報誌」からで、ついで「新聞」が9.6%でした。

Q7の回答に対する取組みと合わせて、確実に情報が届くよう、今回いただいた意見をもとに、広報のあり方を検討していきます。

Q9 県北地域で振興局(県)が力を入れるべき事業(複数回答:4つまで)



○「振興局が力を入れるべき事業」については、「医療の充実」「雇用対策」「農業」及び「福祉」がほぼ同数で、他の項目を大幅に上回りました。

振興局では、多く寄せられた意見だけではなく、それぞれの地域の実情を鑑み、皆様のご意見をもとにして「安心して暮らせる社会、活気ある地域」の実現に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

みんなで守る地域の公共交通



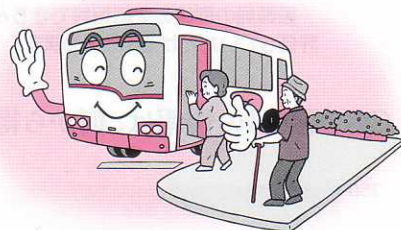
「公共交通」はいつも動いている!?

毎日、当たり前のように走っている鉄道やバス。運行時間は変わりつつも、ダイヤどおりにいつも走っている。

そう思いませんか。

久慈・二戸地域では、三陸鉄道やいわて銀河鉄道、ジェイアール東日本が鉄道を運行しており、また、地域によって違いはありますが、民間事業者や自治体もバスを運行するなどして、地域の皆様の生活を支えています。

しかし、公共交通の利用者は年々減っており、これらの鉄道・バスの運営状況も厳しいものとなっています。



「公共交通」の利用者は減っている!?

現在では様々な交通手段が発達していますが、地方都市では自家用車が移動手段の主役となっています。

そのような中でも、車を運転できない方、特に生徒(学生)や高齢者などにとっては、公共交通は大切な移動手段です。

しかし、生徒そのものの数が減り、通学利用も減少してきていること、また、高齢者も含めて車を運転できない方が減少していることなどから、公共交通の利用者は減り続けています。

「公共交通」は残っていく!?

自治体で住民の公共交通に対するアンケートを行ったりすると、「車の運転ができなくなったら公共交通を利用したい」といった声が聞かれます。しかし、利用の実績が少なければ、公共交通が存続していくのは難しいのが現実です。

自治体も、様々な手段で公共交通を支えようとしています。補助金、運営協議会等への参加、交通機関利用促進のイベントの企画などなど。また、デマンド運行(運行ダイヤを決めておくが、利用の希望があった時のみ運行)による、より低コストでの公共交通の維持を模索したりしています。

しかし、地域の公共交通を守るためには、地域の皆様に利用していただくのが一番です。

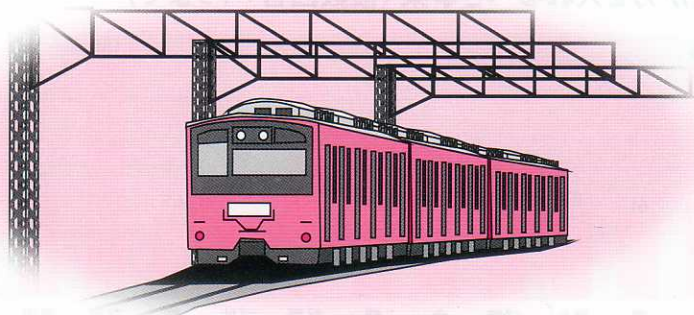
「公共交通」を守っていく!!

「公共交通」に頼らなくても生活できる方もいます。普段の生活でも、鉄道・バス・自家用車はニーズによって使い分けられるものと考えられます。

しかし、公共交通機関は安全運行、定時運行をもって皆様を運ぶ貴重な交通手段です。(渋滞緩和や、車の排出するCO₂削減にもつながります。)

今一度、鉄道・バスの利用についてを考えてみてはいかがでしょうか。

皆様が鉄道・バスを利用することが、「公共交通を守る」最も有力な方法なのです。



広域振興局からのお知らせ

除雪作業へのご協力をお願いします!

冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するため、夜間や早朝を中心に、県が管理している道路の除雪作業や凍結抑制剤散布を行います。
皆さまのご理解とご協力をお願いします。

- ◆各商店や各家庭から道路に出る間口に寄せられた雪は、各家庭やご近所等での除雪をお願いします。
- ◆道路への雪出しは非常に危険ですので、やめましょう。
- ◆路上駐車や車の乗入れ板等は除雪作業の障害となりますので、やめましょう。
- ◆除雪作業は安全第一で行っておりますが、作業中の除雪車は大変危険ですので、通行の際はご注意ください。



県北広域振興局土木部道路整備課 電話0194-53-4990
二戸土木センター道路河川環境課 電話0195-23-9209

地域の住民パワー で、大切な命を守る



県北地域は、自殺死亡率が岩手県内で最も高いことから、地域住民の支え合いで大切な命を守る取組みに繋がるよう、これまでに傾聴ボランティア325名を養成してきました。

こうした住民自身による取組み（気づき、繋がり、見守り、傾聴）は、自殺対策だけでなく、誰もが住みやすい地域づくりに繋がります。

この他、医療や介護、教育、消防等多職種の方々が集まり、心の健康づくりを軸とした連絡会を開催して、自殺関連対策について協議・情報交換を行っています。

深い悩みを抱えた住民一人一人に、必要な支援が行き届くためには、行政による取組みと住民パワーとの協働が大切です。

担当

県北広域振興局保健福祉環境部 0194-53-4987
二戸保健福祉環境センター保健課 0195-23-9202

ペットは家族 ～飼い方のルールとマナー～

ねこの放し飼いによる苦情が増えています。

放し飼いのねこは、ご近所の庭を汚したり、自由な交配で野良ねこを増やすことになり、結果的に地域の人たちに迷惑をかけることとなります。さらに、病気に感染したり、交通事故に遭う心配もありますので、ねこは屋内で飼うよう努めましょう。

また、野良ねこに安易に餌を与えると、その場所に居着き、たちまち数が増え、結果的に住環境に被害が生じるので、野良ねこへの餌やりは慎みましょう。

**ペットは家族の一員です。
最後まで責任を持って
飼いましょう!**



県北広域振興局保健福祉環境部環境衛生課 電話0194-53-4987
二戸保健福祉環境センター環境衛生課 電話0195-23-9202



おでかけ クチコミ情報

久慈の市日 (毎月3と8のつく日)

約360年の歴史を誇る久慈の市日。魅力は、元気なおばあちゃんとのふれあい。

- 会場:中町市日通り
- 問合せ:久慈市商工観光課



野田の市日 (毎月6のつく日)

旬のものから、陶芸、地元の手作り商品等を販売。

- 会場:愛宕参道広場
- 問合せ:野田村商工会

「市」~地元のおいしいもん~

なにやーと夜市 (毎月7日と20日)

農海産物と加工品等数多く販売。二戸駅からのアクセスも徒歩1分!

- 会場:カシオペアメッセ・なにやーと
- 問合せ:なにやーと夜市運営委員 Tel:0195-23-2893



くのへスキー場 ナイター感謝デー

当日はリフトを無料開放します。雪上ゲームなど盛りだくさん!

- 日時:H23年2月5日(土)
- 会場:村営くのへスキー場
- 問合せ:九戸村教育委員会 Tel:0195-42-2111



凍えてみつか〜

内間木洞まつり

冬の宝石「氷筍」が出現!この期間しか見られない神秘の風景を楽しめます。

- 日時:H23年2月11日(金)
- 会場:内間木(久慈市山形町)
- 問合せ:小国自治会(二橋) Tel:0194-75-2150

だれでも氷上スポーツ

今回は、カーリング教室を実施します。あわせてプラネタリウム鑑賞も予定されております。

- 会場:県北青少年の家
- 問合せ:県北青少年の家 Tel:0195-23-9511



2011
2/5
SAT

2011 クロスカントリースキー 奥中山高原大会

奥中山高原スキー場を会場に開催されるクロスカントリースキー大会。ウインタースポーツをぜひ一戸でご堪能ください。

- 会場:奥中山高原スキー場
- 問合せ:一戸町教育委員会 Tel:0195-33-2111

2011
1/29
SAT

北三陸くじ冬の市 (12/23、1/23、2/13)

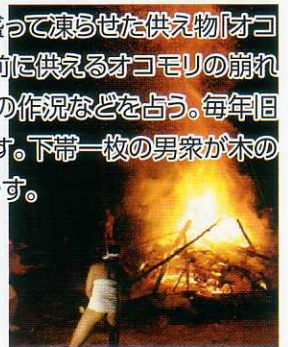
北三陸の新鮮な海・山の幸はもちろん、みんなで楽しめるイベントなどふるさとの魅力盛りだくさんの市。12/23は「短角牛」、1/23は「アワビ」がテーマ。

- 会場:市内中心市街地
- 問合せ:久慈市商工観光課
Tel:0194-52-2123

二戸市・似鳥の「サイトギ」

燃え盛る炎で作柄を占う伝統の祭典。五穀を剣状に盛って凍らせた供え物「オコモリ」、水ごり、裸参り、火祭りの四つで構成され、神前に供えるオコモリの崩れ具合と境内でたかれる火の粉が舞う方向で、その年の作況などを占う。毎年旧暦の一月六日(今回は、2月8日)に行なわれる行事です。下帯一枚の男衆が木の棒で揺さぶり火の粉を立ち上がらせる光景は、圧巻です。

- 日時:平成23年2月8日 午後6時50分頃~
- 会場:似鳥八幡神社
- 問合せ:二戸市観光協会 Tel:0195-23-3641



県北広域振興局管内全世帯配布情報誌 (平成22年12月号)

編集・発行:県北広域振興局経営企画部企画推進課 〒028-8042岩手県久慈市八日町1-1
TEL:0194-53-4981 FAX:0194-53-1720 E-mail:FA0022@pref.iwate.jp

この情報紙は再生紙を使用しています。
印刷:川嶋印刷株式会社